

2022年3月

第10回 原子力友の会 総会（オンラインリアルタイム方式）

皆さま、こんにちは。

昨年度に引き続き、例年夏に開催している総会は COVID-19 感染拡大防止の観点で開催を延期しておりました。ぎりぎりまで対面での可能性を検討して参りましたが、現在（2022年1月末時点）の感染状況を鑑み、今年度もオンラインでの実施とすることを決定しました。しかし、資料配布のみとした昨年度とは異なり、オンラインの会場にご参集いただき、リアルタイム配信方式にて実施いたします。対面に比べれば不自由な状況には変わりありませんが、同時双方向的に意見交換をさせていただければと思います。

原子力友の会は2011年11月に発足いたしましたので、2021年度は節目の10周年となります。原子力安全工学科の卒業生は1期生が2012年3月卒業して以降、着実に増えてきています。原子力友の会は、卒業生同士だけでなく、学生や教職員、そして、母校・東京都市大学／武蔵工業大学との架け橋としての役割を今後も果たしていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きよろしくごお願いいたします。

日時：2022年3月9日（水）17：30～19：30（17：00開場）

場所：Zoom ミーティングルーム（接続先はメールにてご連絡します）

式次第：

開会のあいさつ： 会長 本多 庸郎

1. 前回総会以降の主な出来事の紹介
2. 「原子力友の会賞」について
3. 幹事会の確認
4. 会計報告
4. 活動計画
5. 予算計画

原子力安全工学科 主任教授のあいさつ： 鈴木 徹 教授

意見交換

講演会

「大学で学んだことが社会人となった今どのように生活しているか（仮）」

入江 寛和さん（西日本プラント工業株式会社）

2011年3月 修士課程修了（原研・本多研）

閉会

1. 前回総会（期間の最終日：2021年1月31日(日)）からの主な出来事

2021年2月8日(月) 修論発表会@オンライン

2021年2月18日(木) 卒論発表会@オンライン

原子力友の会賞の審査（教員に依頼）を実施しました。

2021年3月19日(金) 学位授与式

原子力友の会賞を6名に授与、卒業生37名に記念品贈呈しました。

2021年4月2日(金) 入学式

2022年2月7日(月) 修論発表会@オンライン

2022年2月17日(木) 卒論発表会@オンライン

原子力友の会賞の審査（教員に依頼）を実施しました。

※4月の最初の土曜日に王禅寺にて開催しておりました「花見会」は中止としました。

※以下のホームページ等にも近況が掲載されていますので是非ご覧ください。

- 校友会会報「都市」8号（2021年3月発行）

（PDFのページ数で18ページ、24ページに原子力安全工学科、原子力研究所、原子力友の会の記事があります）

https://tcu-alumni.jp/tcu-g/journal_toshi/journal_vol08.pdf

- 原子力友の会 <http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/tomo/index.html>
- 東京都市大学 原子力研究所 <http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>
- 東京都市大学 原子力安全工学科 <http://www.nuc.tcu.ac.jp/>
- 東京都市大学 校友会 <https://tcu-alumni.jp/new/>

2. 「原子力友の会賞」について

- 2012年度より卒論発表会にて原子力安全工学科の教員による審査を行い、優秀な発表をした者へ学位授与式において「原子力友の会賞」を授与してきました。
- 毎年、総会において贈呈人数を決定してきました。2012年度～2014年度は3名、2015年度以降は6名へ授与することとしてきました。
- 2019年度は、審査の結果、8名が選出されたため、幹事会にてメール審議した結果8名へ授与することとしました。
- 2020年度は、従来通りの6名としました。審査の結果により件数が増える状況となった場合には、幹事会でのメール審議により決定することとします。発表の審査は、従来通り、原子力安全工学科の教員に依頼します。
- 2021年度は、6名が選出されました。
- 歴代の授賞者リストを示します。

3. 幹事会の確認

4. 会計報告

2020年度、2021年度の会計報告は別添資料に示すとおりです。

監査の幅氏にはメールにて確認を頂いております。

4. 活動計画

COVID-19 の影響がいつまで続くか不明なためイベント等の開催については不透明な状況ではありますが、以下を計画します。

2022年7月ごろ 第11回総会

2023年2月 卒論発表会における原子力友の会賞の審査（教員に依頼）

2023年3月 学位授与式における原子力友の会賞並びに記念品の贈呈

5. 予算計画

例年通り、「原子力友の会賞」および「卒業記念品」に関する支出を計画しています。

活動計画にも記載の通り、COVID-19の影響によりイベントを開催しづらい状況が今後いつまで続くのかにより計画は大きく変更になるものと考えています。必要に応じて幹事会にて検討し、運営を進めてまいりますので、ご一任のほどよろしくお願いいたします。

6. 原子力安全工学科のJABEE審査受審とご助言のお願い（学科から）

現在、本学では、学部教育の質を保証するという観点で、第三者による評価を受け改善していくことが求められています。工学系の学科ではJABEE（一般社団法人日本技術者教育認定機構）認定を取得することが強く推奨され、原子力安全工学科では2017年に認定取得を宣言し、2021年9月に実地審査を受審しました。学科ではこれを機に教育プログラムを改めて整理し、PDCAサイクルを回した継続的な改善を始めていくきっかけになったと受け止めています。

学科としては学修要覧という学科が行う教育の基本方針を定めた文書の中で「目指す技術者像」を示しています。この記載は学修要覧を毎年改訂する中で、社会の変化に合わせて適時適切に見直していくことが必要であると考えています。そのために学科として数年に一度、外部の有識者の先生方による評価を受け、ご意見を伺っています。そうした取り組みとは別に、本学卒業生の会である原子力友の会の皆さまからもご助言を頂きたいと思っております。その時々、社会情勢を踏まえて、どのようなスキルとマインドを持った人を社会に送り出すべきかといったことについてご意見をうかがえると幸いです。

【問合せ先】

原子力友の会 事務局（東京都市大学 原子力研究所内）

原研代表番号：044-966-6131

原研FAX番号：044-955-6071

メール連絡先（以下の[at]は@を意味します）

内山孝文 tuchi[at]tcu.ac.jp

羽倉尚人 nhagura[at]tcu.ac.jp

以上

添付資料

- (1) 前回議事録（案）
- (2) 歴代の原子力友の会賞受賞者一覧
- (3) 幹事会メンバーの一覧（事前配布なし）
- (4) 会計報告（事前配布なし）
- (5) JABEE とは
- (6) 最近のキャンパスの様子を動画で紹介

原子力友の会 総会（第9回） 議事録（案）

開催日時：2020年12月23日（水）～2021年1月31日（日）

方 式：オンライン審議

配信人数：254名（校友会事務局にて管理されている本会のメールアドレス登録のある会員）

配布資料：【原子力友の会】第9回総会資料一式 R01.pdf

議題及び報告

1. 冒頭挨拶

COVID-19の影響により例年夏に開催していた総会の延期が余儀なくされ、年度内に対面方式での開催のめどが立たないことからオンラインにて資料を配布し、メール等によりご意見・ご質問を受け付ける形での開催についての説明があった。

2. 前回総会からの主な出来事

2019年7月13日に開催された総会以降の本学における出来事についての紹介があった。通常の行事である卒論発表会や学位授与式などのほかに、2019年10月の台風19号による被災、コロナ禍における授業等の実施状況について紹介があった。

3. 「原子力友の会賞」について

2019年度は8名に授与したことの紹介があった。2020年度の審査も例年通り、原子力安全工学科の教員に依頼することとして、基本的に6名を選出していただくよう依頼することとした。審査の結果この件数に変更がある場合にはメール審議により決定することとした。

4. 会計報告

2019年度の会計報告がなされ、監査の確認済みであることも説明された。

5. 活動計画

2020年度の活動計画について説明があった。コロナ禍により変更になる可能性があることも併せて説明された。

6. 予算計画

2020年度の活動計画に合わせて、例年通り、友の会賞や卒業記念品に関する支出についての説明があった。活動計画と同様にコロナ禍における不透明な状況があるので、必要に応じて幹事会にて検討の上、運営していくことも併せて説明された。

7. 最近の世田谷キャンパスの様子

2020年11月に撮影された本学世田谷キャンパスの様子について写真にて紹介があった。台風被災後の浸水対策やコロナ対応のための学食への衝立の設置、新棟建設のための工事の進捗状況について紹介された。

2020年12月23日にメール配信後、2021年1月31日までの間に3名の会員の方からメールにてご連絡を頂きました。いずれのメールも、総会資料の内容に対するご質問やご意見ではなく、資料をご覧になられてのご感想、また、近況のご連絡といったものでした。

以上より、本年度の総会にて図られた事案については承認が得られたものとして、幹事会を中心に2020年度の運営を行ってまいります。

(2) 原子力友の会賞（第1回～第10回） 受賞者一覧

2012年度（発表件数：39件）	
中町鴻	川崎大気粒子状物質における福島原発事故由来の放射性セシウムの長期影響
三原裕貴	受動安全の強化を目指した炉内新型注水技術の開発
山岸昇平	構造物振動を利用した発電手法に関する研究（積層型ピエゾ素子の振動発電特性の評価）
2013年度（発表件数：50件）	
大久保健	トリウム燃料を用いたPWRの燃焼特性改善に関する研究
四宮権一	α 線を利用したNO _x 除去に関する研究
唯野誠哲	三次元汚染空間における線量評価手法に関する森林モデルの開発
2014年度（発表件数：42件）	
佐藤嘉晃	小型軽量炉心型原子力推進ロケットシステムの核熱特性とノズル設計に関する研究
飯村駿介	固相抽出法による放射性ストロンチウム分析
須藤航太	原子力施設における機器三次元免震に関する研究
2015年度（発表件数：39件）	
今村康平	積層型免震装置の終局段階の力学的特性に関する研究
内田紗椰	粒子線治療の深部線量分布改善のための軽・重粒子線の比較検討
瓜谷宥紀	内部発熱を伴う球の周りの熱伝達に関する基礎研究
大川佳祐	ABWRの格納容器破損シナリオに対する緩和操作タイミングの影響に関する検討
小出純平	共鳴吸収領域でのパルス中性子イメージングにおける高空間分解能化
佐藤瞬	X線吸収微細構造による抽出剤に吸着された希土類元素の評価
2016年度（発表件数：37件）	
江森達也	シルカロイ再生を目的とした塩化物浴中におけるZrの電気化学
田治見祐里	Vを含む溶融ホウケイ酸ガラス中の模擬廃棄物の局所的な構造—アルカリ含有率の効果
辻晃慶	2030年度の原子力発電比率目標を達成・維持するための軽水炉・高速炉導入シナリオ検討
中田裕	PWRの1次系シースルーモデルの試作によるフィードアンドブリードの研究
仲野智	Na冷却高速炉におけるCDA時再臨界を回避する炉心形状の検討
中村建翔	モリブデンを含むフッ化リチウム溶融塩に酸素が与える影響
2017年度（発表件数：32件）	
大谷知世	コアキャッチャを用いた燃料デブリ冷却システムの研究
高崎史晟	化合物半導体検出器を用いたデジタル計測システムにおける高計数率対応のための基礎研究
仲村宗真	高燃焼度化のための円錐台CANDU炉心
持丸貴則	自然循環Na冷却金属燃料小型高速炉の核解析
森川徹	福島第一原発の燃料デブリにおける「回収時に落下した際の臨界性と堆積角度の関係」及び「残留核分裂生成物の放射能と放出時化学系」に関する研究
渡邊達也	APDを用いたエネルギー分散型PIXE分析用X線検出器の基礎研究

2018年度（発表件数：36件）	
長澤巧弥	溶融 CaCl ₂ -LiCl を用いた燃料デブリ中 Zr の電気化学的回収
木下昂亮	水銀を可燃性毒物として用いる BWR の核特性
武藤大紀	共沈法を用いた多摩川河川水における放射性セシウムの定量
村山公仁	サブレーションプールにおける FP 捕獲挙動に関する基礎研究
横山諒	損傷炉心物質の共晶熔融と流動性に関する実験的研究
若菜志保	リーチスルー型 APD を用いた低エネルギー X 線検出器の開発
2019年度（発表件数：32件）	
池田和	Deep learning を使用した応答スペクトルの減衰補正
榎本重亮	非スプレイ領域における格納容器内エアロゾル状 FP の挙動に関する検討
舘野遥青	地震 PRA における応答相関に関する検討
新田旭	重点推進研究における FP の有効利用に関する研究－白色金属析出物の冶金学的観察－
原田龍	地震・津波の重畳を考慮した確率論的安全性評価手法の基礎的研究
本多栄輝	損傷炉心から落下した溶融燃料の拡がり挙動に関する基礎実験と数値解析
山田優輝	地震津波を考慮した確率論的リスク評価手法の実機適用性に関する検討
寺山翔大	地震リスク評価における乱数生成法の開発
2020年度（発表件数：37件）	
長谷川京吾	遠心力による自然循環冷却型宇宙電源用小型原子炉の概念設計
木村優斗	金属燃料を用いた長寿命型高中性子束照射炉の概念設計
小峰諒	積層ゴム免震要素の終局特性を考慮した地震リスク評価に関する研究
佐々木怜央	PIGE への CdTe 半導体検出器の応用研究
増子元海	重点推進研究における核分裂生成物の有効利用に関する研究－合金への水素吸蔵評価法の検討－
杉浦友哉	圧力抑制プールの水面近傍におけるエアロゾル FP の挙動に関する研究
2021年度（発表件数：44件）	
小幡歩夢	医用 RI 自給に向けた燃料デブリと発電用 BWR の活用
工藤仁美	原子力施設の設計を超過する地震道に対するスロッシング挙動の数値シミュレーションに関する研究
樽見直樹	燃料デブリ収納管での水素低減を目的とした触媒開発－模擬白金族合金の熱力学的安定性評価及び基本的性能の検討－
近松優真	荷電粒子誘起発光を用いた分析手法の基礎検討
福江さくら	STAMP/STPA に基づく要素間相互作用を考慮した住民避難多層レイヤーモデルの構築
箕輪一希	アルキルジアミドアミン吸着材中希土類の局所構造解析

JABEE (一般社団法人日本技術者教育認定機構) とは

- * JABEEは、**技術者を育成する教育プログラムを「技術者に必要な知識と能力」「社会の要求水準」などの観点から審査し、認定する非政府系組織**です。
- * 技術士制度は、文部科学省が所管する、優れた技術者の育成を図るための国による技術者の資格認定制度です。JABEEが認定したプログラムの修了者は、文部科学大臣の指定を受けて**技術士の第一次試験が免除**されます。

当学科は2017年度入学生から日本技術者教育認定機構による教育の質評価を受けます

受験生の皆さま

原子力安全工学科では2017年度の入学生からJABEEによる学科教育の受審対象学年にいたします。これは日本技術者教育認定機構（JABEE）という外部評価機構によって、原子力安全工学科の教育内容全般の質の高さを審査してもらう制度で、審査が承認されますと入学された学生の皆様には**技術士（原子力・放射線部門）の一次試験が免除される特権**が与えられます。当学科は「工学（融合複合・新領域）及び関連のエンジニアリング分野」という分野での認定を計画しています。

受審は完成年度（全4年）の1年前、いまから3年後になります。技術士は終身の資格です。原子力の学科に対するJABEE受審は我が国初めてです。どうぞご期待のうえ学科への受験をご検討ください。入学をお待ちしています。

(主任教授 横堀 誠一)

認定開始年度：2019年度として認定！

これで終わりではなく、**継続的に教育改善をしていることが今後も審査されることになる**

原子力安全工学科のホームページにて2017年に受審することを宣言！

(6) 最近のキャンパスの様子を動画で紹介

東京都市大学 創立 90 周年記念ムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=o3UrQO8eZsg>

世田谷キャンパスの約 3 分の 1 をリニューアル -東京都市大学キャンパス再整備事業-

<https://www.youtube.com/watch?v=SzOyJwTWGWk>

【東京都市大学】ゲームチェンジ時代を切り拓く ひらめき「探究」プログラムを紹介します！

<https://www.youtube.com/watch?v=WNJibxtexU8>

【東京都市大学】未来がつながっていくよ！ ひらめき「探究」プログラムで実現できること！

https://www.youtube.com/watch?v=QKNxNSa_cLg